

令和3年度第1回天童市総合教育会議

日 時 令和3年10月29日（金）
午前9時30分から
場 所 本庁舎3階会議室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議・調整事項
 - (1) 教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について
 - (2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について
 - ア 中学生副読本「市民科」の内容及び今後の活用について
 - イ 学校におけるタブレット端末等ICT機器活用の現状について
 - (3) その他
- 4 閉会

(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

基本目標



夢を持ち生きる力を育てる

学校教育課

確かな学力の育成

子ども一人ひとりを大切にし、個々の教育的ニーズに応じた適時適切な教育を推進するために、幼稚園・保育園、小・中学校の連携を密にしながら、義務教育9年間を見通して特別支援教育の視点を基盤に全ての教育活動を展開します。

また、各学校の特色を生かしながら質の高い授業を目指して授業改善に取り組むことにより、社会の中で生きて働く「知識・技能」を身につけ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」を育成しながら、自らの学びを人生や社会づくりに生かそうとする「学びに向かう力」を涵養します。

《施策》

1 すこやかスクール充実事業 ～特別支援教育充実事業～

(1) すこやか巡回相談

全小中学校で実施：スクリーニングによる個に応じた教育的ニーズの把握と支援のあり方に関する助言、個別検査43人実施（9月末現在）

(2) すこやかスクール支援員の配置

小学校12校とアウタースクールに計20名配置

(3) 特別支援教育研修会

特別支援教育スキルアップ講座3回実施、延べ130人参加

2 学力ジャンプアップ事業

(1) 校内研究推進支援事業

- ・研究授業の事前・事後研究会支援、授業づくりについての指導主事による訪問指導を実施
- ・教職経験2、3年次の教職員を対象に、授業視察を実施、授業づくりについて訪問指導を実施

(2) デジタル教科書整備事業

- ・市内全小・中学校へ、学校選択による任意の2教科の指導者用デジタル教科書を整備して授業を実施

(3) ICT支援員派遣事業

- ・ICT機器を活用した質の高い授業づくりを推進するためのICT支援員を全小中学校へ派遣、年間2420時間のうち1017時間実施（9月末現在）

「市いじめ防止基本方針」に基づきいじめの未然防止対策を推進し、「いじめをしない、させない学校づくり」を目指すとともに、生徒指導に関する諸問題の早期発見・早期対応により、子どもが自尊感情を高めながら、生き生きと学校生活を送ることができる学校づくりを行います。

また、地域との緊密な連携のもと、「人、もの、こと、自然、文化」などの地域の魅力に触れる多様な体験を充実させ、子どもの郷土への愛着と誇りをはぐくみ、社会参加に向けた教育支援を推進します。

さらに、子どもの主体的なスポーツ参加を推進し、体力の増進とスポーツに親しむ心情を涵養し、将来、自立した市民として活躍できる心身ともに健康でたくましい子どもの育成を目指します。

《施策》

1 いじめ防止スクールライフ充実支援事業

(1) 学級集団アセスメント検査実施

- ・小学校2年生～中学校3年生までの全通常学級で6月末まで1回目を実施

(2) すこやかスクール相談員の配置

- ・各中学校と学校教育課に5名配置（平均5～6名/日対応）

(3) スクールソーシャルワーカー活用事業

- ・いじめや不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を実施、相談延べ人数1,526人（9月末現在）

2 ひと・もの・ことを活用した学校づくり体制整備事業

- ・ふるさとに誇りと愛着をもち、そして、ふるさとの未来をきりひらく力を身に付けていくために、地域のひと・もの・こととのかかわりを通した子どもたちの学びの経験を充実
- ・地域と学校をつなぐ「地域連携コーディネーター」を配置、専門的な知見を有する「外部講師（＝地域の先生）」を招聘して地域のひと・もの・ことと関連づけた教育活動を実施

3 学校スポーツ・文化振興事業

小・中学校体育連盟等への費用負担や中学校各種大会出場者への補助

2

社会の発展を牽引する人材を育てる

英語教育の推進

学校教育課

グローバル化が進む社会において、人権尊重の視点を大切にしながら、豊かな国際感覚と多様な文化を柔軟に理解する心情を育むとともに、積極的に外国語を用いて日本やふるさと天童の良さを適切に発信することができるコミュニケーション能力を養うことを目指し、英語教育の充実を推進します。

特に、小学校と中学校の連携を図りながら、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4つの技能をバランス良く伸ばし、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力と主体的な姿勢を養います。

《施策》

1 英語教育パワーアップ事業

(1) ALTの配置

- ・小・中学校合わせて6名の配置。小学校3・4年生の外国語活動と小学校5年生以上の英語の授業の補助
- ・11月末には8名配置となる予定

(2) 実用英語技能検定受験推進事業

- ・第2回英検 令和3年10月1日実施。396名受検
(35.8%)

(3) 小学校英語4技能検定実施

- ・市内すべての小学校6年生に11月中に実施予定



生涯にわたる学びを支援する

生涯学習・社会教育の推進

生涯学習課

市民一人ひとりが生涯にわたって充実した学習活動を行い豊かな人生を創造できるよう、大学との連携による学習活動を展開し学習機会の充実を図るとともに、学校や家庭、地域と連携した行事の開催など多世代交流による学習活動を推進します。

また、生涯学習の場となる図書館などの施設をより一層充実させ、学習活動に対する支援や情報の提供を行います。

社会教育については、市民がそれぞれの価値観やライフステージに応じた学習活動を主体的に行うことができるよう、幅広い世代が気軽に集い交流できる場である市立公民館の利用拡大を図るとともに、社会情勢の変化や利用者のニーズに合わせて市立公民館の整備を進めます。

また、社会教育において重要な役割を担う社会教育関係団体の活性化を図るとともに、市民自らが課題を見つけ解決を図ることを目的とした地域づくり委員会活動を推進します。

《施策》

《生涯学習課の推進》

1 明治大学・天童市連携講座の実施

オンラインによる連携講座

前期4講座全て終了 登録受講者数 延べ67人

2 市立図書館の利用推進

(1) 新1年生パック事業 (281人利用登録)

(2) 図書館オリジナルキャラクターの募集 (6月～8月)

一般応募総数674点の中から最優秀賞1点、優秀賞3点を決定

(3) その他事業等

ボランティア団体による読み聞かせ、落語会、こどもまつり、本の交換市・リサイクル市、つちだよしはる絵本原画展、文化祭、ライブラリーカフェ等

3 市民プラザの生涯学習の振興

(1) 生涯学習講座の開催

99講座 8,946人受講 (9月末現在)

(2) 学習支援室(ちえふる)の利用推進

3,455人 (9月末現在)

4 高原の里交流施設「ぼんぽこ」の事業

- (1) ぽんぽこ塾 塾生39人 全8講座
4講座(うち、1講座中止)終了、延べ96人受講
- (2) ぽんぽこ里山コンサート 10月3日 180人
- (3) 維持・管理 室内用アルミパイプ椅子の購入 50脚

《社会教育の推進》

1 市立公民館の事業等

公民館フェスティバル・公民館大会や各種教室等の開催を通し、各社会教育団体間での親睦等が図られた。(各地域レクリエーション大会等は中止)

2 市立公民館の管理・運営

(1) 市立公民館等の施設整備

ア 施設整備

干布公民館改築工事に係る実施設計等業務委託(改築工事は令和4年度予定)

イ 工事等

長岡公民館の2階研修室等空調設備改修工事

天童中部公民館の北側外装改修等工事

天童南部公民館の屋根塗装工事

ウ 修繕等

天童中部公民館の男子トイレ修繕等

天童北部公民館の和室温水ルームヒーター等修繕

(2) 分館の施設整備・活動の支援等

新築、改造、修繕、備品購入、外構整備等に対する補助

3 社会教育関係団体等の支援等

市連合青壮年会、市連合婦人会、市子ども会育成会連合会、市女性団体連絡協議会等

4 幼児と親の交流機会の支援

天童南部、成生、蔵増、高掬、長岡

5 放課後子ども教室推進事業

12小学校区で事業実施

6 青少年健全育成事業

(1) 青少年指導センターでの街頭指導の実施

(2) 青少年問題協議会の開催 6月1日

(3) 青少年健全育成市民集会の開催 7月10日

7 地域の通い場づくり事業と支援(公民館喫茶等)

天童南部、天童中部、天童北部、蔵増、寺津、田麦野

《地域づくり委員会活動の推進》

地域づくり委員会においては、地域住民自らが地域課題を発掘・整理し、自主的な活動を行うなど地域の特色を生かした活動を展開してきた。各地域の情報交換・共有の場として天童市地域づくり推進委員会が発足して今年で20年となった節目に、これまでの歩みを「天童市地域づくり委員会記録集～20年間のあゆみ～」としてまとめ、各地域づくり委員会に配本し、情報の共有を行った。

文化財の保護及び活用の推進

生涯学習課

指定文化財を適切に保存するため、現地調査により状況を確認し、管理者や保護団体の保護活動に支援を行うとともに、未指定の文化財や民俗芸能について、研究者などの協力のもと調査・研究を進め文化財の適切な保存や活用を図ります。

また、文化財に関するパンフレットの作成や歴史講座、史跡めぐりの開催などにより文化財を身近に感じてもらい、文化財をとおして郷土への親しみや関心を育みます。

西沼田遺跡公園や旧東村山郡役所資料館などの文化財関連施設については、適切な維持管理を行い、出土した遺物や貴重な郷土資料の展示や公開により本市の歴史に触れる機会を提供するほか、体験学習、企画展の開催や地域活動と連携することにより、地域の活性化を図ります。

《施策》

1 文化財の保護、啓発及び活用の推進

(1) 文化財保護審議会

6月29日「指定文化財の現状確認について等」

9月16日「指定文化財の指定解除について等」

(2) ふるさと歴史講座 中止

(3) 市民史跡めぐり 中止

2 国指定史跡「西沼田遺跡」の維持、管理及び活用

(1) ポンプ小屋及び物置小屋の屋根改修工事（12月完了予定）

(2) 「ニシヌマタックル」（4月29日～5月5日）376人

(3) 「海より山より西沼田」（7月31日～8月15日）2,106人

(4) 朝のヨガ講座（8月1日）25人

(5) 市内外小中学校の修学旅行受入れ（9月末現在）6校、198人

(6) 「加茂水族館クラゲ展示」（9月17～23日）870人

(7) 動く展示「古代の暮らし」（10月10日）300人

3 文化財の所有者及び保護団体等への支援

ジャガラモガラ、イバラトミヨ生息地等の保護活動の支援

4 天童古城の主郭跡発掘調査の成果報告書作成・説明看板設置

平成29年度から令和2年度にかけて実施した舞鶴山山頂に建つ愛宕神社西側平場での遺構、遺物の確認調査にかかる成果報告書の作成及び説明板の設置（3月末予定）

4

誰もが学べる環境を整える

就学支援等の推進

教育総務課

家庭の経済事情にかかわらず、すべての子どもたちが未来に希望を持ち、それぞれの夢に向かって頑張ることができるよう、教育費の負担軽減を図ります。

小・中学生に対しては、学用品費など就学に必要な費用を支援するとともに、多子世帯への支援を継続して行います。

高校生や大学生に対しては、就学の支援を推進するための事業の充実を図ります。

また、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難な状況にあるひとり親家庭の子どもに対して学習支援を進めます。

《施策》

1 扶助費

- (1) 準要保護 支給人数 306名 支給額 12,393,667円
(前年比 △18名)
- (2) 要保護 支給人数 0名 支給額 0円
(前年比 △1名)
- (3) 特別支援 支給人数 137名 支給額 2,433,136円
(前年比 +25名)
- (4) 被災 11月末まで申請を受付し、年度末に支給を行う。
(前年支給人数 2名)

2 私立高等学校生徒学費支援事業 補助対象者 24名(前年比+14名)

3 やまがた就職促進奨学金返還支援事業 認定者 16名(前年比+2名) (旧事業名 山形県若者定着奨学金返還支援事業)

4 市奨学基金支援事業 貸付人数 1名(前年比+1名) 返還者数 12名(前年比±0名)

5 給食費の第3子以降無料化事業

決定者 小学校 329名 中学校 34名 計 363名 (前年比+8名)
(内、市外通学者 3名(東桜学館等))

決定額 小学校 17,718千円 中学校 1,972千円
計 19,690千円

(前年比 +1,926千円)

5

学校の安全・安心を未来につなぐ

学校教育施設の整備

教育総務課

児童・生徒が安心して学べる安全な環境を整備するため、学校施設の安全点検を継続的に実施するとともに、学校施設長寿命化計画に基づき、施設改修を計画的に進めます。

また、情報化社会で生き抜く力の育成を目指したICT環境の整備や、障がいを持ち特別な支援が必要な児童・生徒が安心して学校に通えるよう、学校施設のバリアフリー化を進めます。

《施策》

1 ICT教育環境整備

(1) ICT関連物品の整備

- ・ iPad用タッチペンの整備 小学校：2学年分、中学校：1学級分
- ・ デジタルテレビの整備 中学校：各校3～5台
- ・ Apple TVの整備

小学校：全学級数分（令和2年度に約半数整備済）

中学校：デジタルテレビと同台数程度

(2) モバイルWi-Fiルーターの整備

Wi-Fi環境を整えられない家庭においてもインターネットを活用した家庭学習が可能となるよう、貸出し用のモバイルWi-Fiルーターを購入（11月納期・12月貸出し予定）

2 学校施設各種工事等

学校施設の各種保守点検等での要是正事項や学校施設長寿命化計画に基づくトイレ改修工事（2月工期）の実施（詳細は別紙資料1）

持続可能な学校指導体制の整備

学校教育課

今後ますます高度情報化が進む社会において、たくましく生き抜く児童・生徒を育てるために、授業におけるICT機器の積極的かつ効果的な活用を図ります。

また、教職員の「働き方改革」を積極的に推進し、教職員が子どもとじっくり向き合う時間や、授業の準備を十分に行う時間を確保することにより、学校教育の質の向上を目指します。

《施策》

1 教職員の働き方改革推進事業

(1) 部活動指導員の配置（全中学校に1名ずつ）

教職員の部活動に係る業務の負担軽減、生徒の安全確保及び専門的指導の充実

(2) 校務支援システムの導入

市内全学校での総合型校務支援システムの運用による事務作業や管理業務の効率化

児童生徒の出欠状況や保健情報の管理、通知表や指導要録の作成、公務情報の集約・整理、各業務日誌作成、教職員の勤務時間管理等

安全・安心な学校給食の提供

学校給食センター

徹底した衛生管理に努めるとともに、食物アレルギー対応給食を実施し、安全・安心な学校給食を提供します。

また、地産地消の推進を図り、特別献立や地域の食文化、季節の行事給食など工夫を凝らしたメニューを提供し、学校給食の充実に努めます。

さらに、望ましい食習慣を形成し、豊かな心と人間性をはぐくみ、食と健康な体づくりの大切さや地元の農産物、郷土の文化への理解を深めるため、栄養・給食指導などによる食育を推進します。

《施策》

1 衛生管理の徹底

(1) 職員及び学校給食配膳職員の腸内細菌検査の実施 月2回

(2) 衛生管理研修会の開催 8月3日(火)

2 食物アレルギーへの対応

「卵、乳」について食物アレルギー対応給食を提供

卵対応18名、卵・乳対応3名、乳対応3名 計24名

3 望ましい食習慣の形成推進

(1) 栄養教諭による栄養指導

学校訪問による指導 9月10日(金) 蔵増小学校

9月28日(火) 天童中部小学校

学校給食センター見学時 6月18日(金) 山口小学校

9月2日(木) 干布小学校

(2) プロスポーツ選手とのふれあい給食

モンテディオ山形 7月8日(木) 天童南部小学校(『Zoom』による選手とのオンライン交流を実施)

(3) 行事給食や地域の食文化給食などの特別献立の提供

地域の食文化給食 4回、行事給食 6回、健康献立給食 8回、

その他(モンテ応援献立、お好み献立、オリンピック関係など) 20回

No.	学校名	工事名（内容）	事業費	備考
1	天童南部小	北校舎屋根塗装工事 ・屋根材の経年劣化による塗膜剥離及びサビ浸食により、雨漏り等の恐れがあるため再塗装を行う。	(工事) 6,710 千円	工期 R3.5.25～R3.9.13
2	天童北部小	プール改修工事 ・給排水管の免震処理、設備機器の固定及び水槽のステンレス化を行う。	(工事) 47,043 千円 (77,143 千円) R2:30,100 千円 前払金支払 (監理) 1,584 千円	【R2 繰越明許】 工期 R3.2.1～R3.7.26 学校施設環境改善交付金対象事業(1/3)
3	津山小	体育館屋根改修工事 ・屋根西面北の屋根材から雨漏りが発生しているため改修を行う。	(工事) 3,113 千円	工期 R3.5.19～R3.7.21
4	高掬小	体育館床塗装工事 ・体育館床の経年劣化により、塗膜剥離及びささくれ等が発生し、使用にあたり怪我の恐れがあるため、表面研磨、ライン引き、表面塗装を行う。	(工事) 2,860 千円	工期 R3.6.4～R3.9.3
5	長岡小	体育館屋根塗装工事 ・屋根材の経年劣化による塗膜剥離及びサビ浸食により、雨漏り等の恐れがあるため再塗装を行う。	(工事) 11,110 千円	工期 R3.8.10～R3.11.30 ※施工中
6	千布小	体育館床塗装工事 ・体育館床の経年劣化により、塗膜剥離及びささくれ等が発生し、使用にあたり怪我の恐れがあるため、表面研磨、ライン引き、表面塗装を行う。	(工事) 3,080 千円	工期 R3.6.10～R3.8.30
7	千布小	校内放送設備更新工事 ・機器の老朽化により、校内放送及び緊急放送時に動作不良やノイズが発生しているため更新を行う。	(工事) 1,782 千円	工期 R3.5.20～R3.7.2

No.	学校名	工事名（内容）	事業費	備考
8	千布小	体育館西側ネットフェンス設置工事 ・既存ネットフェンスが低く、屋根からの落雪による堆雪が隣地へ流出しているため、高さのあるネットフェンスを増設するもの。	(工事) 1,177 千円	工期 R3.10.14～R3.12.17 ※施工中
9	成生小 高揃小 荒谷小	トイレ改修工事 ・老朽化しているトイレ施設について、大便器の洋式化及び配管、天井、壁、床等の改修を行う。	(工事) 192,137 千円 (監理) 3,058 千円	工期 R3.5.10～R4.2.25 ※施工中
10	天童南部小 天童北部小 蔵増小 長岡小 千布小	トイレ改修工事実施設計業務委託 ・トイレ改修工事を実施するための設計業務を委託する。	(設計) 14,575 千円	履行期間 R3.4.23～R3.10.29
11	第二中	自転車置場更新工事 ・鉄骨材の屈曲及び断裂、柱・梁・屋根の錆腐食の進行により、倒壊の危険があるため更新を行う。	(工事) 4,345 千円	工期 R3.10.5～R3.12.17 ※施工中
12	第四中	グラウンド西側水路土留工事 ・グラウンド西側のソフトボール脇の水路の法肩が崩落しており、土砂流入等の恐れがあるため改修を行う。	(工事) 1,210 千円	工期 R3.6.24～R3.7.19

学校におけるタブレット端末等ICT機器活用の現状について

1 市内小中学校活用状況 (市内小学校：12校 市内中学校：4校 合計16校)

- ・ 全学年において端末を毎日使用している … 16校
- ・ 主な利用アプリ等
「ロイロノート」「eライブラリ」(全校実施)「Google Workspace for Education」
「ビスケット」「scratch」等(プログラミングアプリ)
- ・ 端末を持ち帰り家庭学習に使っている(オフライン利用)
平日及び週末に持ち帰りさせている … 13校
夏休み中に持ち帰りさせていた … 8校
※主な利用 … 音読の録音・日記(キーボード入力)・調理実習の撮影・植物の撮影等

2 ICT推進に係る支援事業

(1) ICT支援員の活用状況【今年度契約時間 合計2,420h】(令和2年度 936h)

- ・ 各月の支援状況(4～9月)
4月：168h (年次処理・各種アプリの初期設定・アカウント登録作業等)
5月：186h (授業支援・ロイロノート等の操作支援・校内の操作研修会等)
6月：212h (授業支援・クラウド活用支援等)
7月：186h (授業での活用の支援増)
8月：69h (授業支援・ロイロノートの授業活用等)
9月：196h (授業支援・Google Workspace for Educationの活用等)

今後、天童市ICT活用推進の事業を以下のように実施

月 日	会議・研修等	内容等
2学期中	教育研究所 授業研究会	
1/19	ICT教育推進合同会	教育研究所所員による実践まとめ 課題確認
2/15	ICTスキルアップ講座 ③	ロイロノート・G-W 選択研修
2月中	ICT教育推進検討委員会 ②	まとめと来年度に向けて
2/15	教育研究所 運営委員会 ②	

3 活用実質元年で見えてきた課題

- ・ 活用状況の格差(学校差・個人差・小学校と中学校の差)
⇒ ICT教育推進検討委員会、ICT教育推進担当者連絡会、ICTスキルアップ講座、天童市教育研究所の提案、研修、実践、情報交換を通して解消を目指す
- ・ 実際に活用して
破損数…タブレット：40台 カバー：10台(10月末現在)
管理下内：教育委員会で修理 管理下外：保険適用(PTA互助会)
- ・ 管理職、教務主任、担外等のタブレット
- ・ オンラインでの活用を進めるにあたりWi-Fi環境の整備
⇒ 9月補正でタブレットの購入、貸出しルーターの整備、準保・要保家庭への支援
今後、家庭のWi-Fi環境及びルーターの貸出希望の調査中 年明け運用予定

中学生副読本「市民科」の内容及び今後の活用について

1 目 的

ふるさとの理解を深め、天童市民として生きる姿勢を育み、働く・活動する人から学び、故郷「天童市」に誇りが持てる子どもを育てるため、本市に関する教科を「市民科」と位置づけその副読本を編集し作成するもの。

2 タイトル・仕様・使い方

タイトル「みちしるべ」

媒体：電子書籍（PDF） ページ数：122ページ フルカラー

中学生を対象とする内容とし、社会科、家庭科、道徳、特別活動や総合的な学習の時間等で副読本として使用する。媒体は、電子書籍で生徒のタブレット端末に保存し、閲覧はタブレット端末のアプリで行うことで、いつでも、どこでも見ることができる。また、電子書籍には参考となるホームページへのリンクを設定し、必要に応じてインターネットから参考資料を閲覧できるように配慮している。

3 構 成

(1) ふるさとを理解する

天童市章・市民歌・市民憲章、天童市の歴史、地名の由来、文化財の紹介など

(2) ふるさとで働くということ

天童の地理・気候・特産物、さまざまな仕事、さまざまな働き方

(3) ふるさとでよりよく生きる

コミュニケーションツールの変遷・情報の活用方法、疑問への対応、なりたい自分の探し方、規則正しい生活、地域イベントへの参画、友情の在り方

4 今後の活用について

(1) 市民歌や市民憲章の生徒への浸透を図る。

(2) 主に1年生に、市内探訪等で、市の歴史や地理、文化財など天童市を良く知るテキストとして活用する。

(3) 主に2年生に、様々な仕事を知り、職業体験などに活用する。

(4) 主に3年生に、より良い生き方について学ぶ参考資料とする。

(5) その他、様々な授業等での活用を図る。